



H

ostelling

Magazine

巻頭インタビュー

武井 壮

「行って見るだけ」はしたくない。
どこに行っても

自分の価値を発揮できる自分でありたい。



この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



MY STANDARD LUNCH PACK



FRUITY LUNCH PACK



※写真はイメージです。

それは、フルーティなジャム。
大人も愉しめる、
3つの味で好評発売中。

ぼくらのミカタ。

ランチパック



全国高校生最大級ビジネスコンテスト



キャリア甲子園2020

CAREER KOSHIEEN 2020 ★★★★★★★★

これに勝てれば、本物だ。



※ただし、昨今の情勢を鑑みて渡航の制限や変更、100万円相当額の別賞品になる可能性がございますのでご了承ください。

優勝チームには
100万円相当の
オリジナル
海外研修ツアー
を贈呈します！*

プレントリー期間

2020.7.1 ~ 2020.11.27

昨年度実績

プレントリー数 : 4,469名 エントリーチーム数 : 1,090チーム

企業テーマ

東京電力

安心して快適に暮らせる災害に強い
まちづくりを目指し、
自由な発想で新たなサービスを提案せよ

バイエル

世代や性別、そして育児や介護などの状況も
さまざまに異なる人たちが、生活環境の変化のなかで、
継続的に企業で働くことを可能にする施策を考えてください

生命保険協会

生命保険会社の強みを活かし、
人生100年時代における社会課題を解決する
新しいサービスを創出せよ

ピップ

今後大きく変わる消費者行動の
変化のなかで、スリムウォークの新しい
マーケティングプランを提案せよ

日本ユースホステル協会

afterコロナ時代を見据え、
日本の学生が旅に出なくなるような
新しい旅行・宿泊施設の仕組みを提案せよ

三井住友カード

2025年、キャッシュレス決済比率が40%になった
社会において、キャッシュレスを起点にしたあなたたちの
ライフスタイル・価値観を提案してください

キャリア甲子園2020 <https://careerkoshien.mynavi.jp/>





Vision

Principle and Philosophy

Inclusivity

世界を超えて

Learning and Understanding

考えよう

Sustainability

僕らと子ども達の未来のことを

日本ユースホステル協会はユースホステルのビジョンに基づき、日本国内にユースホステルを設置・運営すると共に、国際ユースホステル連盟や各国のユースホステル協会と協調し、知見を広める「旅」を促進する活動を行っています。

Hostelling Magazine読者の皆様 発行日程変更のお詫び

平素よりHostelling Magazineをご愛読いただき、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、本誌Hostelling Magazine vol.22の発行日を変更して発行いたしました。楽しみにお持ちいただいていた皆様におかれましては大変申し訳ございませんが、なにとぞ事情をお汲み取りいただき、ご了承いただけますようお願い申し上げます。また、本年度発行の次号以降の発行日程につきまして、右記の通り予定しています。

2020年度季刊誌「Hostelling Magazine」発行スケジュール

変更前 変更後

秋号 9月下旬 ▶ 10月下旬(予定)

冬号 12月下旬 ▶ 変更なし(予定)

春号 2月下旬 ▶ 変更なし(予定)

Line up

インタビュー P02

武井 壮

「行って見るだけ」はしたくない。どこに行っても自分の価値を發揮できる自分でありたい。

Youth Hostel Pick up P08

「馬のまち」として歴史を紡ぐ小淵沢で、豊かな自然を間近にくつろぎの時間をー。

八ヶ岳ポニーユースホステル

Hostelling Magazine × 地球の歩き方... P12

最も美しいのはココ!

世界こんなところにこんな町!?

■絶壁に囲まれた「陸の孤島」

■外洋から100km!えぐれたフィヨルド沿いの町

■紺碧のアドリア海に囲まれた城壁とオレンジの旧市街

■険しい岩窟城の周りに土の家々が並ぶ

■アンデスの山々に囲まれた標高3500mオーバーの盆地

■三日月のオアシスに寄り添う仙人の不思議な住居

■ユングフラウ3山を見上げる山間の小さな村

Sustainable Tourism P18

ユースホステルはじめての一步 P20

教えて! 旅GIRL P21

松島むうの晴れときどき旅びより..... P22

※本紙の情報は2020年10月20日現在のものです。変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地にお確かめください。
発行所 一般財団法人日本ユースホステル協会
編集・発行人 寺島 真
TEL (03) 5738-0546
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
国立オリンピック記念青少年総合センター内
※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。
制作・印刷製本/サンメッセ株式会社

巻頭インタビュー

「行って見るだけ」はしたくない。
どこに行っても
自分の価値を発揮できる自分でありたい。

タレント／アスリート／百獣の王

武井 壮

大学で陸上を始め、競技歴わずか2年半で十種競技の全日本チャンピオンに。

未経験で始めたゴルフは、特別支援生としてアメリカ留学。

台湾のプロ野球チームでコーチに就任すれば、

プロ選手たちの短距離走のタイムを爆上げしてしまう。

信じられないほど密度の濃い人生を経て、

39歳で芸能界デビューした武井壮さん。

「百獣の王」らしく、次々と野望を叶えてきた裏側には

明確なゴールと綿密な戦略、そしてたゆまぬ努力がありました。

頭と身体を生かし切ること、お金を稼ぐということ——。

武井さんの人生哲学を、じっくり語っていただきました。

台湾の彼女に会うために 初めて海外行きのチケットを取った

—25歳で渡米し3年間のゴルフ留学をしたあと、台湾でプロ野球チームのコーチを務めるなど、20代からグローバルな生活をされていた武井さんですが、個人的な旅としては、初めての海外旅行はどこだったのですか？

台湾ですね。大学3年生の時に一人で行きました。彼女が台湾にいて、陸上の遠征試合で、日本代表として、台湾で開催された国際大会に出たんですが、そのとき現地で通訳兼プレゼンターをしていた台湾人の女の子に一目ぼれしちゃって(笑)。ミス台湾のU-19に選ばれたという、すごくきれいで知的な女の子でした。

—すぐにアプローチしたんですか？さすが百獣の王！

「君のために優勝するから見てて!」と、いきなり彼女に向かって宣言して、実際に優勝して、花束をプレゼントしました。その夜に開催された選手団のさよならパーティで話しかけて、想いを伝えたんですが、次の日も僕は日本に帰らないといけなかった。それで、メールアドレスを伝えておいたんですけど、これがマズかった。

—武井さんの大学生当時というと、1996年ごろですね。

はい。まだ自宅にパソコンを持っている人が少ない時代です。僕はお金のない大学生で、大学のパソコン以外にメールを読む手段がなくて、しかもその時期は夏休み中で、大学は閉まっていた。登校日にメールを開いたら台湾の彼女から100通くらいメールが来ていて「どうして連絡くれないの!」と、すごく怒っていました。僕、かなり熱烈にアタックしたので、彼女も気になってくれていたみたいで。それで焦って、次の日にすぐにチケットを取って台湾に謝りに行きました。

—すごい行動力!

最初は怒っていましたが、事情を説明して謝ったら許してくれて。何日か滞在して、デートして。それが初めて自分の意志で行った海外旅行ですね。

成績トップでいることは 生きていくための必須条件だった

—特に語学を学んでいなくても、海外の人と難なくコミュニケーションができるほど、武井さんは学業優秀でいらっやいました。中高時代は常にトップだったとか？

学費を払う資金が無く、全額免除の特待生でない学校に行けないので、仕方なくというか…。両親が早くに離婚をして父に引き取られたんですが、一緒には住んでいなくて、兄と僕の二人暮らし。二人とも子どもですから、まともな生活ができず、電気・ガス・水道も頻繁に止まるような状態でした。何とかここから這い上がりたという一心で、成績優秀者は学費が免除される私立の中高一貫校に行っただけです。勉強は、生きるための義務でした。

—なんと…。過酷な少年時代を送られたんですね…。その頃からスポーツはやっていたんですか？

野球は小学校6年生から少年野球、中学は野球部でやっていました。

うーん、何というのかな…。周りは遊びや部活としてスポーツをやっていましたが、僕は「スポーツで食っていくにはどうしたらいいか」という気持ちでスポーツを捉えていた。うちの家庭の状況から、何かスペシャリティを持たないと思通りの人生にはならなさそうだな…と、小学生のときに感じていて。

—小学生でそこまで具体的に将来のことを!

それで、ご近所の体育大のお兄さんに教科書をもって、スポーツ理論を勉強し始めたのが小学校の3年生の時でした。中高はとにかく勉強しなきゃいけないから「大学に入ったらこのスポーツ理論を使って、プロのスポーツかアマチュアでもオリンピックで競技があるものにチャレンジしよう!」と思っていました。そんなわけで、小中高時代は近所で走ったり、自分の体を思い通り動かすためのトレーニングばかりしていました。お金がなくてもできて、一人で力を磨くことができるトレーニングですね。

—すさまじいハングリー精神ですね。

うーん、ハングリーというほど強い反骨心はないな。“そうしないと生きていけなかった”というだけです、環境ですね。

—勉強もスポーツも生きていくための手段だったんですね。

ベビーブーム世代なのでとにかく同級生が多かった。その全員に勝って、将来幸せな暮らしを手に入れるために、まず勉強だと思って始めたのがスポーツ理論だったんです。好きとか嫌いとかということよりも、最初は義務感です。好きじゃないけど学校に行けないから勉強をしていたし、好きじゃないけど鍛えてないと勝てないからトレーニングをしていたんです。

—心が折れるようなことは、なかったですか？

私立だったので、学校の友人はいいおうちの子たちばかり。お弁当も美味しそうなのを持ってくるんです。僕はそういうものが何もなく、昼休みも寂しい思いをしていました。でも学校の先生たちがよく見てくれて、昼休みになると職員室に呼び出してパンをくれたり、弁当のおかずを分けてくれたり、すごく支えてもらいました。「お前は勉強も頑張ってる、スポーツも一生懸命やっているから、いつか必ずいいことがあるぞ!」ってたくさんの先生が言ってくれて。

—周りの励ましが、支えてくれたんですね。

葛飾区って下町でね。町の人でも僕のことをよく知っていて、毎日走ってトレーニングしているのを見てくれていたんです。親代わりの目線で見守ってくれていたんでしょうね。おかげで、道を間違えないですみましたし、努力を誉めてくれる大人が周りにたくさんいました。僕の恩師ともいえる中学の先生は、試験前に電気・ガス・水道が止まって「勉強できない、助けて!」ってお願いしたら、自宅勉強をさせてくれて、ご飯を食べさせてくれたこともありました。

理論と力学。物理があれば 日本一は簡単だった

—成績トップを維持しつづけた中高時代を経て、大学でついに陸上を始めます。なぜ、陸上を選んだのですか？

たまたまです(笑)。同級生に誘われてグラウンドを見に行ったら、あれよあれよという間にジャージを買わされちゃって、しょうがなく…。でも、陸上は他のスポーツにも役立つし「体も鍛えられるのでやっておかか!」ということで始めました。

—それが、競技歴2年半で十種競技の全日本チャンピオンにまでのぼりつめてしまった。すごいことですね。

運動理論やスポーツの力学、物理…。いろんなものを小学生のころから大学生以上に勉強していたおかげですね。たぶん、当時の僕の学習量って誰にも負けていなかったと思うんです。

陸上って、質量のある自分の体を遠くに速く届けるとか、高く飛ばすとか、重いものを遠くに投げるといった作業をするものなので、物理の法則がわかっている人はトレーニング理論もシンプルに思いつくし、体に必要な能力もわかります。地面にどう力を加えたらいいのかもよくわかるので、他の選手よりクオリティの高い練習が積めていたんだと思います。

—スポーツって小さいころからその競技一本で生きてきた人がトップを取るものだと思っていました。

どの競技もやっていることは基本、同じなんですよね。頭で「こうしたい」と思ったことを、体がその通りにできるかどうか。でも、その部分のトレーニングをやっている人はあまりなくて、みんな競技に特化した技術練習ばかりしている状態だと思うんです。イメージを体で再現するという能力が備わっていない状態で、バットを振るとか走高跳などの技術練習ばかり重ねるのは、非効率です。「部活」のシステムがそうさせているところもあるとは思いますが、もったいないですね。

ゴルフも、野球も すべて芸能界へのステップに

—高度な理論と身体能力が備わった武井さんだからこそ、さまざまなスポーツに応用が利くのですね。

そうですね。大学を卒業してからも、未経験から始めたゴルフでスポンサーシップをいただき無償で渡米できましたし、野球でも台湾でコーチとしてお金をもらいながら、プロ選手と一緒にプレーできました。コーチとして雇われたのに「外国人枠で入団しないか」と誘われるオマケもついて(笑)。

—陸上、ゴルフ、野球。こんなにも畑の違う分野ですべてに実績を残しておられるとは…。そのまま続けてもトップになれる可能性はあったと思いますが、なぜ方向転換されたのでしょうか？

ゴルフと野球をどちらもやったのは、シンプルに、芸能界を意識していたからですね。大学卒業が見えてきた23歳、24歳ごろに「このまま陸上をしていても経済的に行き詰まる、今の日本では大きく稼ぐことはできないな」と思ったんです。もっとお金を稼いで不安なく幸せに暮らすためには、より稼げる別のプロスポーツを極めるか、アスリートの能力と実績を活かして芸能界に入るしかないな、と。

—潔いキャリアプランですね。

芸能界を目指す最初のステップとして、テレビの番組表を見て、24時間、全部のテレビ番組で何を扱っているかをパーッと書きだしてみました。すると、スポーツに関してだけで言うと、日本のテレビ界は圧倒的に

倒的に野球とゴルフで占められていました。この先テレビで活躍するのなら、この2つは必修だなと。じゃあまずはゴルフからやってみよう!と、あるプロジェクトのスポンサーシップに応募したら、「フィジカル能力がすごい」という可能性だけで合格を頂けました(笑)。

—すごすぎる…。

ゴルフの学生チャンピオンや世界のジュニアチャンピオンに交じって、未経験の僕。アリゾナ州のギルバートという町で、僕を含め5~6人の特待生たちと共同生活をしていました。住まいの隣は7番ホール、朝5時にコースに出て、夜の8時に帰ってくる生活を毎日していました。

—まさにゴルフ漬けの日々ですね!ゴルフ以外の生活はなかったのでしょうか？

ほとんどないです。ゴルフして寝て、ゴルフして寝て、最初の1年はほとんどその繰り返しでしたね。

憧れのレジェンド選手と スポーツで遊べるのは武井壮だけ!?

—なぜ野球へ方向転換を?

ゴルフは初めから「1年でPGAツアーの出場権を争う予選会、クオリファイング・スクールで、ファーストステージを突破する」という目標を設定していました。実現すれば非常にセンセーショナルな話題になるので、この目標が達成できれば、生業としてゴルフの道を進もうと自分の中で決めていたんです。

—すごい目標ですが…。達成はできたのでしょうか？

残念ながら10カ月間でスコアが73までしか伸びませんでした。未経験からの数字としてはすごいんですが、Qスクールはあと10くらい伸ばさないと突破できません。そこで方向転換をして、ここから先は自分の将来にゴルフを活かせるよう、技術と知識を学ぶ2年にしよう、と。

—その経験がいまのお仕事につながっているのですね。

「芸能界ナンバーワン」といわれるレベルには成長して帰ろうと思っていました。ゴルフはいま、番組や連載をやらせていただいていますし、毎年プロアマで石川遼君と回らせてもらったり、バツバ・ワトソンというマスターズを制したチャンピオンともラウンドする荣誉にあずかることもできました。もちろんギャラをいただいて…(笑)。

—最高じゃないですか!

最高ですよ!野球でも、プロの選手から三振をとったり、ヒットを打ったり。僕、ランディ・ジョンソンから2打数2安打、三浦大輔さんからも2打数2安打なんです!森友哉と吉田正尚から三振とったんですよ!すごいでしょ(笑)バラエティの企画で、ですけど。

—レジェンドと対戦できるなんて武井さんだけの特権かも。

若いころに夢みたアスリートや同世代のスーパースターと仲良くなれて、プライベートでも親交できて、一生スポーツで楽しく遊ぶことができる。しかも、それが職業になっている。子どものころ思い描いた野望に、少しずつ近づいている気がしますね。

美しい建造物に惹かれて 隙を見つけては旅をしています

— 武井さんにしか築けない地位を芸能界で手にされた今、旅行にも思う存分行けますね。

そうですね。野球を離れ、39歳で芸能界デビューをするまでの10年間は、時間があってもお金がない。デビューをしてからは、仕事に進んできたのでお金があっても時間がない。きちんとお休みを取って年に一度海外旅行ができるようになったのは、ここ数年ですね。

— ふと思いついて旅に、ということもあるのですか？

ありますあります！ 国内だったら、その日の仕事が夕方に終わって、翌日が夕方からの仕事だったりすると、だいたいどこかへ旅に出ちゃいます。例えば、大阪でのお仕事だったら、そのまま京都に行っておいしいものを食べて、翌日街並みを見て歩いたり。

— どんなどころに行かれるんですか？

僕、建造物が好きなので、建造物が魅力的な街に行くのが好きなんです。国内だと京都、神戸はよく行きますし、海外だとやっぱりヨーロッパが好きですね。

— 百獣の王も、旅はサバンナよりもヨーロッパ？

そうですね。サバンナは危険も多いでしょう？ 動物を倒すには、動物と戦わないのが一番だから(笑)。

世界をすべて見てから 人生を終えたい

— 武井さんのマイベスト建造物がありますか？

いや～。優劣なんて全然付けられない！ 一番はないですよ。世界遺産に選ばれているものはすべて素晴らしかったですし、直近ではバルセロナで見たサグラダ・ファミリアなんか、見た瞬間から本当に美しい気持ちになれました。

あんなに大きな町で芸術性が認められて、あれだけ大きな建造物を委任されて、デザインして作るという仕事のすごさですよ。そして、いまだにガウディの構想した建造物を見に、地球上の人が絶えず訪れて、感動して写真を撮っていく。写真と一緒に写っていることが価値になって、そこに行ったという話も価値になるという建造物。そんな偉大なものが、世界中にゴロゴロあるんですよ。ドイツのノイシュヴァンシュタイン城とかもそうですね！ モンサンミッシェルとかも！ バチカンもすべて最高です！

— 武井さん流の建物の楽しみ方ってありますか？

まずは文化や歴史、街の成り立ちなどをしっかりと頭に入れてから街や建造物を見ます。歴史的な建造物以外にも、アジアの山の中の古い集落でもそうだけど、成り立ちを知ったり、知識を積み上げた上で俯瞰して見てみると、実に機能的で美しく人間の叡智が詰まっているものばかり。そういったものはすべて、美しいと感じますね。

— 知的好奇心を思う存分満足させているんですね。



Profile

たけい そう
武井 壮

1973年生まれ、東京都出身。

陸上競技・十種競技の元日本チャンピオン。十種競技で数々の国内タイトルを獲得し、十種競技・100mのベスト10秒54はいまも破られることのない十種競技においての日本最高記録となっている。独自の『パーフェクトボディーコントロール』理論でゴルフ・野球・ボクシング・陸上・柔道などさまざまなスポーツにチャレンジし続け、いままなお、地上最強の「百獣の王」をめざして日夜トレーニングをつけている。アスリートチーム「EARTHLETES」代表。近著に『勝つ人 13人のアスリートたち』(文藝春秋)がある。トップアスリートやファイターらをゲストに招き、彼らの技の極意に迫るYouTubeチャンネル『武井壮 百獣の王国』も好評を博している。

芸術的な建造物は見ているだけで価値のある時間を過ごせる。自分の生きている時間を使うのにふさわしいと感ずます。「ああ、こんな美しいものを、視覚で捉えて自分の脳で認識できるなんて」と、感動します。それは、スポーツでいうとホームランを打ったり、100mで自己ベスト出したりするのと同じような感動を覚えられる時間です。

見たことがない 場所があるのは 僕の損失だと思う

— 新型コロナウイルスの影響で海外旅行が難しい状況ですが、いま行ってみたいところはどこでしょう？

行ったことないところ全部！地球すべて行きたいですね。

見たことがない場所があるというのは、僕の損失だと思っているんです。だから本当にどこでもいい。優先順位もなく、行ったことのないところ全部の中から、どこかに行きたいです。地球上どこを見ても素晴らしい地域ばかり。地球をすべて見てから人生を終えたいんです。

— その中であえて1カ所を選ぶ時はどうやって行き先を選びますか？

お誘いをいただいたり、きっかけができた場所ですね。あとは、そこにいったときに僕が価値を生めるかどうか。ただ「旅行をしに行く」ってことは、したくないから。

— 価値を生めるかどうか？

僕にはまだ世界での知名度がないので、いまは僕は日本でしか価値を生むことはできません。でも世界中で「ソウ・タケイが来た！ならば我々の誇るアスリートと仕事をしてもらいたい。建造物や文化を見てもらいたい」と、思ってもらえるような、新たな価値と収入を生める存在になりたいんです。

いまはやっと、そのチャレンジが日本では叶ったところ。旅行をするにしても、日本なら番組にしてもええですね。どこかの町にいてもあたたかく迎えてくださるので、こちらはそれ以上に価値を發揮してお返しできる自分でありたい。

— 現地の人にとっても「武井さんが来た」ってことが価値になりますもんね。

そういう風に思っただけのような場所まで何とか来れたけれど、まだ日本だけだというのがすごく悔しいですよ。イタリアで本田圭佑選手とご飯に行ったときなんか、みんな気づくんですよ、圭佑さんに。パーで飲んでいても「ホンダ！ホンダ！」って。でも、僕に対しては「あいつも何かの選手なのかな？」くらい目線。それが悔しいんですよ。

— 旅って予想外のことが起こりますよね。武井さんはかなり綿密にプランを練って出かける派のように思いますが、計算外のこともけっこう起こるのですか？

楽しいことも、楽しくないこともあります。例えば、今年のお正月にバルセ



ロナで車上荒らしにあったことなんかは、楽しくなかったです(苦笑)。

— 楽しかったことは？

僕の旅は行く道中も、行った先でも、基本すべて楽しいです。ただし、行って「見るだけ」ということはしない。楽しいだけの旅は50点、収入の糧になって、僕の旅は100点になります。町の歴史も、出会いも、感じたことも、車上荒らしにあったことも(笑)、すべての経験がエピソードとしてテレビで話せて、僕の認知度やエンターテインメントの要素になるようにしたいのです。

やさしく撫でると心地いい 強く叩くと痛い 言葉だって同じだと思う

— 最近SNSで発信される武井さんのポジティブな言葉も話題にのびますね。

たくさんリツイートをしていただけてますよね！僕は誰かを責めたり、誰かを蔑んだりするマイナスの言葉は絶対に使わないようにしています。そして何より気をつけているのが、言葉を「自分にに向けて言う」ということです。誰かにああしろこうしろなんて、絶対言いません。

— 「ハッ、そんな視点もあったのか！確かにそうだ！」と武井さんの言葉に気づかされることも多いです。

もし「武井社、いいこと言うな！」ってリツイートしてくださる方がいるとしたら、それは僕の言葉というよりも、その人自身が「自分もこうしよう」と思っていたり、こうしたほうが自分の人生がよくなると考えているんだと思いますよ。決して僕の考えが素晴らしいわけじゃない。ポジティブな言葉は「武井社よ、そうあってくれ」という自分自身への願望なんです。僕の人生は、僕自身がいまよりも素敵なヒーローになるためのものなので。

— 人生は、ヒーローになるためのもの。いい言葉ですね。

ギュッつつねったり、叩いたりしたら痛いじゃないですか。「痛み」というのは、よくない行為だから感じるものです。ずっとつねっていると皮膚は壊死しちゃうし、叩き続けると傷になっちゃう。やめてほしいから痛みを出さずです。だけど、やさしく撫でると「心地いい」と感じるわけですよね。それはなぜかという、そうしたほうが身体や脳にとっていいことから、心地よく感じるようにできているわけですよね。つねるのも、撫でるのも、同じ手なのにね。それは言葉も同じだと思うんです。だから僕は悪口や愚痴、ネガティブなことは言いません。

— 心地よさを求めて行くとポジティブになるということでしょうか？

シンプルにきれいなものを見たらキレイだなと思う。それはその時間はすでに価値があるからで、そういったものにもっと素直になっていいじゃないかなと思う。仕事だったり人生の選び方って、やりたくないけどやんなきゃいけないことを選ぶじゃないですか。でも僕はそこから抜け出したかった。自分が心地いいと感じて、楽しいと感じて、素敵だと思うものに向かって自分の仕事をつくりたかったんです。自分の人生の時間であるべくそういう時間を増やしてあげたいと思って、勉強もしてきたし、スポーツの能力も身体能力も高めてきたから、いまは僕が楽しいと思うものに時間を使えて、本当に楽しいことばかりになってきているんです。

でも自分が心地いいと思うものにフォーカスしてって、もしいろんな理由で諦めなければいけなくなったとき、「仕事は世の中にいっぱいあるから、頑張ろう」って、そこで人生を振り向けるのもそれは素敵なことだと思う。だけど最初からそこへ向かう必要はないんじゃないかなと僕は思っているんです。

— お話を伺っているだけでポジティブな気持ちになれます(笑)!

今は新型コロナウイルスの影響で自由に旅はできないけれども、それは僕らが手に入れる知識とか技術でいつか乗り越えられるものだと思う。また自由に旅ができるような地球になったらいいなと思うし、その時に自由に旅ができる自分でいたい。

これから旅に出る学生さんには「旅をすることだけが楽しい」っていう風に旅をしてほしくないなって思います。新しい自分を開拓したり、誰かに価値を提供できる何かを手に入れる場所に行くんだと、そういう目的のために旅をする。それにはやっぱり学ばないといけない。言語もわかんない、文化もわかんない、スポーツもできない、音楽もできない、何の能力もない自分でいくと、その場所で楽しめる幅が狭いんです。

僕の最高の目標は、明日素っ裸で地球のどこかにポトンと落とされても「やべ！次何しようかな？」って楽しめる能力を持った人間になることです。そういう意味での百獣の王です。地球上最強の生物ってのは、そういう意味だと思っています。



武井壮百獣の王国
～百獣の王 武井壮のお届けする、最強への動画たち～

武井壮
YouTube
チャンネル

豪華なゲストとの
コラボ企画も
盛りだくさん、

日々
公開中!

百獣の王国スタート!

youtube.com/
user/so1054

画像: YouTube



武井壮さんの直筆サイン入り

応募締切 2020年12月末日

著書『勝つ人 13人のアスリートたち』(文藝春秋)
抽選で3名様にプレゼント!

ご応募は日本ユースホステル協会ホームページの専用お申込みフォームから!
<http://www.jyh.or.jp/hm/>

※なお、当選発表は、商品の発送を以てかえさせていただきます。

present







つづきをダウンロード(無料)




Hostelling Magazine vol.22
まとめてダウンロード




Sustainable Tourism P18



インタビュー P02
武井 壮
「行って見るだけ」はしたくない。
どこに行っても自分の価値を発揮できる
自分でありたい。




ユースホステルはじめての一步 P20




Youth Hostel Pick up P08
「馬のまち」として歴史を紡ぐ小淵沢で、
豊かな自然を間近につろぎの時間を-。
八ヶ岳ポニーユースホステル



教えて! 旅GIRL P21



Hostelling Magazine × 地球の歩き方 ... P12
最も美しいのはココ!世界こんなところにこんな町!?
■ 絶壁に囲まれた「陸の孤島」
■ 外洋から100km!えぐれたフィヨルド沿いの町
■ 紺碧のアトリア海に囲まれた城壁とオレンジの旧市街
■ 険しい岩窟の周りに土の家々が並ぶ
■ アンデスの山々に囲まれた標高3500mオーバーの盆地
■ 三日月のオアシスに寄り添う仙人の不思議な住居
■ ユングフラウ3山を見上げる山間の小さな村



松島むうの晴れときどき旅びより P22

Hostelling Magazine読者の皆様 発行日程変更のお詫び

平素よりHostelling Magazineをご愛読いただき、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、本誌Hostelling Magazine vol.22の発行日を変更して発行いたしました。楽しみにお待ちいただいていた皆様におかれましては大変申し訳ございませんが、なにとぞ事情をお汲み取りいただき、ご了承いただけますようお願い申し上げます。また、本年度発行の次号以降の発行日程につきまして、右記の通り予定しています。

2020年度季刊誌「Hostelling Magazine」発行スケジュール

	変更前	変更後
秋号	9月下旬	▶ 10月下旬(予定)
冬号	12月下旬	▶ 変更なし(予定)
春号	2月下旬	▶ 変更なし(予定)